

「副首都・大阪」連携プロジェクト



DATA

● 主な連携先・メンバー

大阪府・大阪市副首都推進局／
大阪府立大学／大阪市立大学／
摂南大学

● 活動地域

大阪府全域

● 活動資金

なし

活動の目的

1 | 大阪府副首都化に向けた具体的提案

連携にいたる経緯

大阪府・大阪市は「大阪」の副首都化（※）を推進しており、若い世代が「大阪の魅力は何か」、「今後大阪の町はどうあるべきか」、「首都東京都との差はどこにあるか」について考え、調査・発表を行う学生プレゼンテーション発表会のプロジェクトを立ち上げた。

最終的には、大阪府立大学・大阪市立大学・摂南大学および関西大学の4大学が当プロジェクトと連携。地域連携センターからの提案により、関西大学からは政策創造学部の橋口ゼミが参加することとなった。

※副首都化：天災等の非常時や国際的な広報などの様々な場面において、「東京一極集中」による脆弱性を補完するため、「副首都」となる第二の地域を設定しようとする試みのこと。

活動内容

四大学プレゼンテーション会での報告にむけた調査活動。本年は、西日本の拠点都市とすべく、大阪府全域の人口減少問題を解消すべく解決案を模索した。そこで、子育て世代に住みよいまちづくりを実現することをテーマに、大阪府・大阪市の自治体や池田市などへの取材活動を実施。その取材をもとにして、子育て情報に特化した「子育て応援公園マップ」を提案した。



活動の成果

1 | 「副首都・大阪」連携プロジェクト 4大学最終発表会での報告 (2018年2月11日)

今後の課題・目標

1 | 次年度「副首都・大阪」連携プロジェクト 4大学発表会での報告

● 教員紹介



政策創造学部 教授 橋口 勝利(はしぐち かつとし)

専門演習では「関西地域の活性化に向けた具体的提案と実践」をテーマに、4つの班に分かれて、現場取材や企画提案・運営を学生主体で実施している。